

格子QCD(量子色力学)計算

原子核の構成要素である核子や中間子の振る舞いを、さらにその構成要素であるクォークやグルーオンを元に記述する、現代物理学の最先端分野の一つである。中でも格子QCDに基づく研究は、もともと解析的なアプローチに不向きな非摂動系であるクォーク多体系を扱う唯一確立した手法であり、超大次元の積分を行うことで現実の物理現象と比較できる段階に来ている

クォーク多体系としての核子間相互作用

